

八丈島 水産だより

6月号
2017



パッションの花



パッションフルーツ

6月に入り、梅雨の空模様となる日が多くなりました。さて、八丈島ではパッションフルーツという果物が栽培されています。実は卵より少し大きく、夏にかけて緑から鮮やかな赤紫に色づきます。パッションフルーツの実をつけるために、農家さんは花を一つずつ手作業で丁寧に受粉させていきます。島ではそのまま食べる以外にも、ジュースやスイーツに加工され、販売されています。

■ 最近の漁模様

今年のトビウオ漁は5月中旬で終わりました。漁獲量はここ数年で最も少なく、昨年の半分以下にまで落ち込んでいます。八丈島周辺の水温が低かった影響からか、暖かい水を好むトビウオが寄らず、遠く青ヶ島の漁場まで何度も行かなければとれない状態でした。クサヤや塩干し、漁協女性部が作るミンチや味付けすり身など、トビウオは島の加工業にとっても大切な魚であるため、とても大きな痛手となっています。



ハマトビウオ



■ 青ヶ島について



青ヶ島



宙づり船



21K

キハダマグロ

八丈島から南へ約70キロ進むと、青ヶ島に着きます。島民は165人ほどで、日本で一番人口が少ない自治体としても有名です。八丈島と同じく海底火山の噴火によってできた島で、周囲は切り立った崖のような急斜面になっています。青ヶ島は豊かな海に囲まれていて、マグロやカンパチなど様々な魚が釣れます。また潮の流れが速く波も強いので、船が流されないように港から宙に吊り上げて、陸地に移動させて保管しています。